

地域の施設を活用しよう

小学校 6年 国語

「地域の施設を活用しよう」
情報活用能力の育成

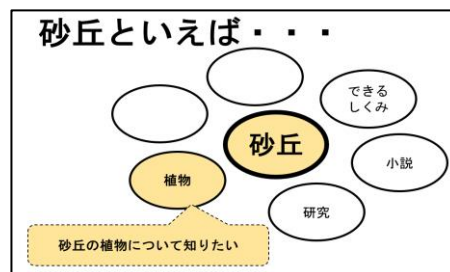
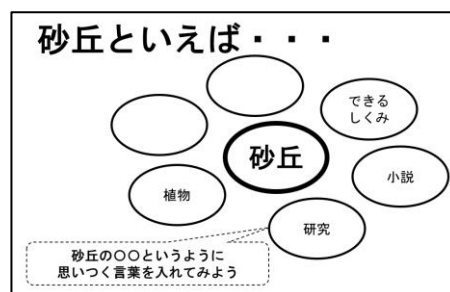
ねらい

○読書生活に関わる地域の施設に関心をもつとともに、目的に応じて進んでそれらを活用しようとすることができる。

学習展開

- ① 読書や情報を得るための施設について、地域にはどのような施設があるか知る。
- ② 知りたいことをはっきりさせることが、目的を持って施設を活用することにつながることを知る。(課題の設定：太陽チャートの活用)
- ③ 目的に応じて活用できる施設が異なることを知る。(施設の利用案内、ホームページの活用)
- ④ 身近な施設(地域の図書館)についての動画を視聴し、施設の活用に向けて関心が高まるようにする。

課題設定のワークシート



◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は学習の流れに沿ったプレゼンテーションスライドを作成する。
- 学校司書(または司書教諭)は、地域の施設の利用案内を準備する。(児童へ配布)
- 担任は②の課題の設定の場面で、知りたいことがなかなか決められない児童にアドバイスをする。

★指導のポイント

- ◆ 課題設定の場面では、ワークシートの配布を行ったが、課題設定のワークシートの配布や記入作業をタブレットで行うのもよい。
- ◆ 課題の設定場面を設けることで、目的を持って地域の施設を活用することにつながる。

資料

- ・ 地域の施設の利用案内(県立博物館、県立図書館など)
- ・ 各施設のホームページ